



6/17~18 ものづくり博 in 東三河
(豊橋市総合体育館)



9/10~11 イオンモール常滑



9/17 530のまち環境フェスタ
(豊橋市公会堂)



11/3 愛知県庁本庁舎公開イベント

環境について考えて

17日、豊橋で「フェスタ」

環境について考える機会にしよう
「530のまち環境フェスタ」が17日、豊橋市役所市民広場

などを会場に開催される。多彩な催しが繰り広げられ、主催する530（ゴミゼロ）運動環境協議会などは多くの来場を呼び掛けている。

「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に同

市で発祥した530運動。フェスタでは、午後0時半から、運動の普及、啓発役を担う530広報大使のシンガーソングライター・辻幸平さんと、フリーアナウンサー・いいたまきさんによるトークとライブが行われる。

フェスタは午前9時15分から午後3時。会場では、ごみ減量や省資源、省エネルギー、リサイクルなどを楽しみながら学べるブースが並ぶ。人気のリサイクル自転車抽選会は午後2時からあり、再生された約40台が用意される。

近くの市公会堂では、三河湾の環境再生に向けた取り組みなどを紹介する県による催しもある。

(中村晋也)

水循環再生行動計画（第2次）で実施した主な取組

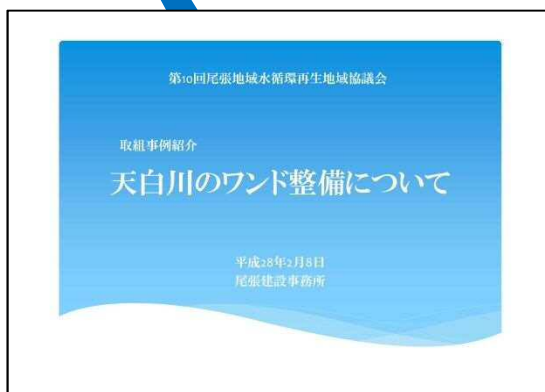
（尾張・西三河・東三河地域で目標達成のために実施した主な取組）

・ 目標達成のために実施した主な取組（各地域協議会で紹介した取組）

尾張・西三河・東三河地域水循環再生行動計画（第2次）期間（H25～H27）に実施した多様な取組。

○ 尾張地域水循環地域協議会

年度	紹介者	紹介内容	概要
H27	独立行政法人 水資源機構中部支社	水資源機構における尾張地域の 水循環再生に向けた取組	清掃活動や環境保全・再生 の取組や水辺空間利用
	愛知県農林水産部 尾張農林水産事務所	ため池がもつ多面的機能と農業 農村整備事業の実施状況	課題と対応、農村整備事業 による水環境整備の事例
	愛知県建設部 県尾張建設事務所	天白川のワンド整備	天白川が本来持っていた 多様な自然環境の復元



年度	紹介者	紹介内容	概要
H26	名古屋市	「水の環復活 2050 なごや戦略」 第2期実行計画	第1期実行計画の成果と 第2期実行計画の紹介
	愛知県建設部 河川課	特定都市河川浸水被害対策法 (新川流域) の取組	浸水被害の防止を図るた めの取組
	愛知県建設部 下水道課	愛知県の下水道整備	下水道の普及活動や下水 道科学館



4. 下水道の普及活動について

下水道出前講座

- 小学生に
- 小学校で
- 授業する

出前講座の実績

年度	人数
H19	500
H20	1,000
H21	1,500
H22	2,500
H23	2,500
H24	2,000
H25	1,500
H26	1,000

顕微鏡で微生物を観察
水質実験(ハンクテスト)
実物を交えた授業

特定都市河川浸水被害対策法 (新川流域) の取組について

3. 雨水浸透阻害行為の許可制

一定規模以上の雨水浸透阻害行為については許可が必要。

田畑に建築物を建てる時
田畑に駐車場を作る時

雨水が地面に浸透しない状態を維持する

健全な水循環をといもどす取組

特定都市河川浸水被害対策法 (新川流域) の取組について

新川流域では平成18年1月に流域を特定都市河川流域に指定し、以下のような取組を行っています。

- 流域水害対策計画の策定
河川管理者、下水道管理者及び流域内の地方公共団体が共同で策定する浸水被害防止を図るための計画。新川流域では平成19年10月に策定し、平成26年10月に一部変更を行いました。
- 都市洪水想定区域及び都市浸水想定区域の指定
特定都市河川の氾濫による洪水、または内水による溢水や潜水等の浸水が想定される区域をそれぞれ都市洪水想定区域及び都市浸水想定区域に指定し、区域における迅速な避難の確保を図っています。

『水の環復活 2050 なごや戦略』
第2期実行計画 (案)

本編：第1章 『水の環復活 2050 なごや戦略』の概要

1 水の環が復活した名古屋の将来像

水循環の観点から見た名古屋の現状

水循環の復活

水循環の復活

2 水収支

水収支

水循環の復活

○ 西三河地域水循環地域協議会

年度	紹介者	紹介内容	概要
H27	愛知県農林水産部 西三河農林水産事務所	西三河農林水産事務所の取組	マイ竿作りとハゼ釣り体験や食育体験教室
	愛知県建設部 知立建設事務所	油ヶ淵の水環境改善の取組	清流ルネッサンス事業の取組とその効果
	豊田市	市民との共働一次世代へ良好な水環境を受け継ぐためにー	ビジョンに基づく行政、市民の取組とその成果

西三河地域水循環再生地域協議会

取組事例発表

西三河農林水産事務所

食と緑の基本計画2015 西三河地域推進プラン(概要)

2. 食と緑の推進に向けた取組の概要

3. 食と緑の推進に向けた取組の概要

4. 食と緑の推進に向けた取組の概要

5. 食と緑の推進に向けた取組の概要

6. 食と緑の推進に向けた取組の概要

7. 食と緑の推進に向けた取組の概要

8. 食と緑の推進に向けた取組の概要

9. 食と緑の推進に向けた取組の概要

10. 食と緑の推進に向けた取組の概要

11. 食と緑の推進に向けた取組の概要

12. 食と緑の推進に向けた取組の概要

13. 食と緑の推進に向けた取組の概要

14. 食と緑の推進に向けた取組の概要

15. 食と緑の推進に向けた取組の概要

16. 食と緑の推進に向けた取組の概要

17. 食と緑の推進に向けた取組の概要

18. 食と緑の推進に向けた取組の概要

19. 食と緑の推進に向けた取組の概要

20. 食と緑の推進に向けた取組の概要

21. 食と緑の推進に向けた取組の概要

22. 食と緑の推進に向けた取組の概要

23. 食と緑の推進に向けた取組の概要

24. 食と緑の推進に向けた取組の概要

25. 食と緑の推進に向けた取組の概要

26. 食と緑の推進に向けた取組の概要

27. 食と緑の推進に向けた取組の概要

28. 食と緑の推進に向けた取組の概要

29. 食と緑の推進に向けた取組の概要

30. 食と緑の推進に向けた取組の概要

31. 食と緑の推進に向けた取組の概要

32. 食と緑の推進に向けた取組の概要

33. 食と緑の推進に向けた取組の概要

34. 食と緑の推進に向けた取組の概要

35. 食と緑の推進に向けた取組の概要

36. 食と緑の推進に向けた取組の概要

37. 食と緑の推進に向けた取組の概要

38. 食と緑の推進に向けた取組の概要

39. 食と緑の推進に向けた取組の概要

40. 食と緑の推進に向けた取組の概要

41. 食と緑の推進に向けた取組の概要

42. 食と緑の推進に向けた取組の概要

43. 食と緑の推進に向けた取組の概要

44. 食と緑の推進に向けた取組の概要

45. 食と緑の推進に向けた取組の概要

46. 食と緑の推進に向けた取組の概要

47. 食と緑の推進に向けた取組の概要

48. 食と緑の推進に向けた取組の概要

49. 食と緑の推進に向けた取組の概要

50. 食と緑の推進に向けた取組の概要

6. 河川事業の取り組み状況

- 油ヶ淵や河川に堆積したヘドロからの窒素・リンの溶出を抑制するため、浚渫・覆砂を実施した。
- 流入する河川で直接浄化するため、主に微生物による膜間接触法などの浄化施設を4施設整備し管理している。
- 湖岸・水辺の多自然化による生物浄化をするため、ヨシなどが育する植生基盤工を整備している。





▲浚渫・覆砂 ▲河川直接浄化施設(長田川) ▲植生基盤工

6

健全な水循環をとりもどす取組

油ヶ淵の水環境改善の取組



平成28年2月2日
愛知県知立建設事務所

1

水環境共働ビジョンについて

市民との共働 - 次世代へ良好な水環境を受け継ぐために -

豊田市

モデル地区での市民の取組

- 川を想う座談会
地区の特有的な取組の紹介と、水に対する思い良いこと、悪いこと、希望等を付箋に書き、地区に貼るミニワークを通して、意見交換を行いました。
- 川しらべ
簡単な実験キットを使った水質調査を実施しました。「酒粕炭(川苔の燃焼)」「酒粕炭(川苔の燃焼)」「酒粕炭(川苔の燃焼)」など11項目の調査を行いました。
- モデル地区交流会
交流会では、各自地区の取組やワークショップ内容を紹介し、各河川の特徴や取組にみる異なる意見、経験、アドバイス等について情報交換を行いました。
- 振り返りと展望
取り回りの振り返りと、今後の取組について検討するワークショップを実施し、カレンダーを作成しました。また、4地区それぞれの発表を行いました。

年度	紹介者	紹介内容	概要
H26	愛知県農林水産部 水産課	愛知県の干潟・浅場造成	干潟・浅場造成の働きやその効果と今後の課題
	愛知県建設部 河川課	愛知県の多自然川づくり	水辺の緑の回廊事業による多自然川づくり
	愛知県建設部 下水道課	愛知県の下水道整備	下水道の普及活動や下水道科学館

西三河地域水循環再生地域協議会
平成27年1月17日
愛知県農林水産部水産課

愛知県の干潟・浅場造成について

1 干潟・浅場造成の考え方

三河湾で衰退している干潟・浅場造成等について
三河湾では、これまで干潟・浅場造成や復元が実施されている。特に、平成10年から16年度にかけて中山水道航路整備事業で発生した大量の良質な底土を利用し、周辺愛知県が選定して約40haの干潟・浅場造成及び復元が行われた（下図）。

中山水道航路整備事業で発生した良質・高純度の底土が活用された

2 愛知県水産課の干潟・浅場造成

愛知県水産課では、三河湾の環境改善のため昭和62年度から復元を実施しているが、平成12年度以降は水質浄化能力の高い干潟・浅場の造成を実施している。
平成12年度から16年度までは中山水道航路整備事業を利用して約180haを、17年度以降は施工で発生する底土を利用して25年度までに約30haの干潟・浅場を造成している。
平成17年度以降の造成は、国土交通省や建設院が行う河川の治水工事等からの底土により、干潟・浅場造成の約8割も入手する経費が削減できるとともに、河川治水工事では約5割の経費が削減できると、効率的な事業実施体制となっている。

注意！東三河川の復元・復旧
造成現場での復元
干潟の造成の様子

干潟・浅場造成の考え方

アサリ等二枚貝が生態し、水質浄化機能を十分に発揮できるように、以下の考えに基づき干潟・浅場を造成する。

- ① 自然環境の復元による自然生態系でのアサリ等の底生生物の生息環境が広い場所において、自然環境の影響を受けにくい造成高までかさ上げする。
- ② 自然環境の影響を受けにくいものの、底質悪化のために底生生物の生息環境が広い場所において底質改善を行う。

干潟・浅場造成のイメージ

干潟・浅場造成による効果

造成した干潟・浅場は、日本一のみさり高を誇る保通となっている。底質の平均25年アサリ生産量は15,000トンで、そのうち造成した干潟・浅場からは約9割を生産している。平成17年度までの造成面積21ha×12t/ha(調査結果)＝252t/ha。
また、そこには生態する二枚貝類が、余剰の原因となる植物プランクトンなどを食べることで藻類の増殖を抑制することができ、三河湾の環境改善に寄与している。

全県のアサリ産出量の推移

5 今後の課題

日本一のみさり高を更に発展させるためには、干潟・浅場造成を継続する必要があるとともに、アサリ類の生態に適した砂を安定的に確保することが重要となっている。

愛知県の多自然川づくりについて ～水辺の緑の回廊事業～

愛知県建設部河川課
環境・海岸G 今泉

モニタリング結果2 ビオトープの発展とネットワーク化

健全な水循環をとりもどす取組

愛知県下水道科学館

・学校における環境学習の場としての利用(社会見学や遠足)
・町内会、老人会などの団体利用
・個人での利用

西三河地域水循環再生地域協議会

平成27年1月17日
愛知県下水道課

「下水道の整備について」

水環境
安心・安全
交流
循環型社会

年度	紹介者	紹介内容	概要
H25	伊勢・三河湾流域ネットワーク	活動実績と「水の質的循環」について話題提供	ウミホタル観察会、山里海セミナー
	特定非営利法人 どんぐりモンゴリ	命を育む森づくり	森づくり活動
	刈谷環境支援員の会	環境学習による市民参加活動の取組	川の上流探検ツアー、親子で川の水質調査
	湾・ワン・浄化市民塾	EMを使った活動	EMを使った浄化ボランティア紹介



健全な水循環をとりもどす取組



○ 東三河地域水循環地域協議会

年度	紹介者	紹介内容	概要
H27	中部地方整備局 豊橋河川事務所	三河湾を含めた豊川流域全体でのよりよい水環境に向けた取組	河川環境の現状と今後の取組
	愛知県建設部 東三河建設事務所	魚道設置	朝倉川における魚道タイプの選定と施工事例
	新城市	水生生物調査と環境活動	小中学校、地元団体、事業所による水生生物調査

三河湾を含めた豊川流域全体でのよりよい水循環に向けた取組について

豊橋河川事務所
平成28年2月

7. 河川環境に関する現状（干満、ヨシ原の減少）(1)

○ 豊川下流域は、もともと低湿地で、干満やヨシ原が広がり、アザリ等底生生物及びオオヨシキリなどの生物が生息する豊かな生態系が形成。
 ○ また、豊川河口直下の三河湾沿岸は、大規模な埋立による広大な干満・低湿地がある。
 ○ 埋立は、市街地の開発や河川整備により、かつて荒れた干満やヨシ原の環境が減少し、アザリ等底生生物やオオヨシキリなどの生物が生息可能な環境が少なくなった。

◆下流域の環境変化

○ 豊川下流域の宅地面積は、昭和23年から平成12年までに約4.3倍増加している。
 ○ また、埋立整備も進んでおり、昭和23年と比較して平成12年のヨシ原・砂洲は延長で約64%、面積で約31%にまで減少している。

※昭和23年の延長や面積と平成12年の宅地面積は航空写真より判読
 ※平成12年のヨシ原・砂洲の延長と面積は平成13年度河川調査より算出

魚道設置について

愛知県東三河建設事務所
河川港湾整備課

健全な水循環をとりもどす取組

施工事例



水生生物調査と環境活動

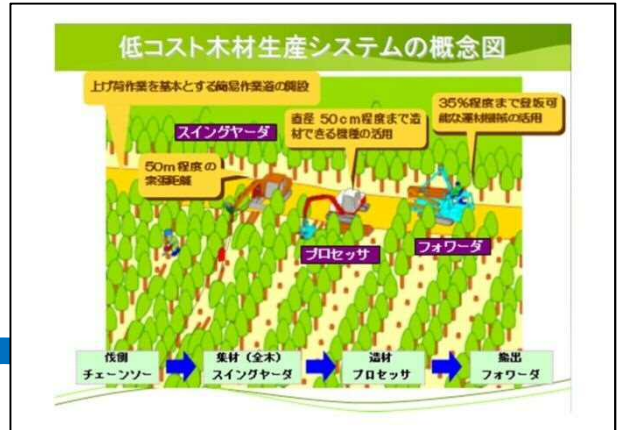
*H28.2.15
*新城市環境部環境課

小中学校での調査

- ・授業の一環として
- ・水に触れる機会
- ・環境保全に関する教育



年度	紹介者	紹介内容	概要
H26	愛知県農林水産部 新城設楽農林水産事務所	東三河地域の森林整備	森林整備の必要性や低コスト木材生産システム
	愛知県建設部 河川課	愛知県の多自然川づくり	水辺の緑の回廊事業による多自然川づくり
	愛知県建設部 下水道課	愛知県の下水道整備	下水道の普及活動やバイオガス利活用施設



水辺の緑の回廊事業 概要

- 平成9年より実施
- 掘込区間、H.W.L以上
- 地域住民による植樹
- 20河川、植栽本数約3万4千人

目的

- 樹木の根張りによる河岸の安定
- 河川の木陰づくり
- ピオトープの発展とネットワーク化
- 景観の形成
- 過度の草類繁茂の抑制
- 河川と地域との関係構築

健全な水循環をとりもどす取組



東三河地域水循環再生地域協議会

平成27年2月3日
愛知県建設部
下水道課

「下水道の整備について」

水循環、安心・安全、外溢、環境社会

5. 豊川浄化センターのバイオガス利活用施設について

- 下水汚泥のエネルギー利用を行うPFI事業
- 汚泥処理施設の改築、バイオガス利活用施設の新設、20年間の運営・維持管理を行う

・ これまでに実施した多様な取組が健全な水循環をとりもどします。

**点(個々)の取組が
線・面の取組に広がり
山から海まで含めた流域全体の
健全な水循環をとりもどします。**



水循環再生行動計画（第3次）で実施している主な取組

（尾張地域で目標達成のために実施している取組み個票（抜粋））

・目標達成のために実施している主な取組み

地域共通の取組一覧

取組番号	取組名	小区分	機能区分					テーマ区分				
			きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化	森	郷	まち	川・海	
共-1	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	生活排水対策	●								○	○
共-2	下水道の整備	生活排水対策	●								◎	○
共-3	高度処理施設の導入	生活排水対策	●								○	◎
共-4	農業集落排水施設の保全、管理	生活排水対策	●							◎	○	○
共-5	合併処理浄化槽の設置	生活排水対策	●								○	◎
共-6	コミュニティ・プラントの整備	生活排水対策	●								○	◎
共-7	河川等公共用水域水質監視	水質等の調査	●									◎
共-8	水生生物調査	水質等の調査	●									◎
		動植物の調査・保全			●							◎
共-9	河川・海岸の清掃	清掃活動等	●									◎
		清掃活動等			●							◎
		清掃活動等				●						◎
共-10	森林整備の促進	森林の整備・保全		●					◎			
共-11	雨水浸透施設等の設置	総合治水対策の推進		●								◎
		雨水貯留浸透施設、 透水性舗装等の推進		●								◎
共-12	透水性舗装の推進	雨水貯留浸透施設、 透水性舗装等の推進		●								◎
共-13	ため池の保全	ため池の保全		●						◎		○
		農業用水路、 ため池等の保全			●					◎		○
共-14	多自然川づくり	多自然川づくり等の推進			●							◎
		エコトーンの整備等			●							◎
		水辺景観の保全				●						◎
共-15	ビオトープ整備	エコトーンの整備等			●							◎
		身近な水辺の親水性の向上				●						◎

※「小区分」については付表を参照下さい。

テーマ区分の凡例：◎：主たるテーマ区分 ○：副次的なテーマ区分

共-12 透水性舗装の推進

機能区分	きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化
小区分	雨水貯留浸透施設、透水性舗装等の推進				
テーマ区分	森づくり	郷づくり	まちづくり	川・里海づくり	
対象区分	ハード	ソフト	登録年度	平成 23 年度	
実施主体	愛知県、市町村		一覧表番号	84	
取組の内容	<p>1 取組の目的、背景及び必要性 雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下による CO2 削減など環境に配慮したまちづくりを行う。</p> <p>2 実施内容(概要)、実施時期、実施場所など ・ 実施内容 歩道や道路等の舗装を透水性のあるもので整備する。</p> <p>3 取組の連携・協働 愛知県、市町村</p> <p>4 関連する計画及び根拠となる法律 新川流域総合治水対策</p>				
指標とする項目	整備面積	指標の説明	構成員が施工した透水性舗装の面積		



共-13 ため池の保全

機能区分	きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化
小区分	ため池の保全、農業用水路、ため池等の保全				
テーマ区分	森づくり	郷づくり	まちづくり	川・里海づくり	
対象区分	ハード	ソフト	登録年度	平成 23 年度	
実施主体	愛知県、ため池を有する市町村		一覧表番号	74~75	
取組の内容	<p>1 取組の目的、背景及び必要性 近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、愛知県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進し、ため池を保全する。</p> <p>2 実施内容(概要)、実施時期、実施場所など ・ 実施内容 ため池を持つ市町村が関係行政機関・ため池管理者・地域住民などと連携して「ため池保全計画」を策定</p> <p>3 取組の連携・協働 市町村、ため池管理者、地域住民など</p> <p>4 関連する計画及び根拠となる法律 愛知県ため池保全構想</p>				
指標とする項目	整備箇所数	指標の説明	構成員が整備したため池の箇所数		



日光川等流域の取組一覧

取組番号	取組名	小区分	機能区分					テーマ区分			
			きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化	森	郷	まち	川・海
日光-1	合流式下水道の改善	生活排水対策	●							○	◎
日光-2	合併処理浄化槽の設置	生活排水対策	●							○	◎
日光-3	浄化槽の適正な維持管理	生活排水対策	●							○	◎
日光-4	水生生物調査	水質等の調査	●								◎
		動植物の調査・保全			●						◎
日光-5	水質環境目標値市民モニタリング	水質等の調査	●							○	◎
		モニタリングの実施		●						○	◎
日光-6	河川・海岸の清掃	清掃活動等	●								◎
		清掃活動等			●						◎
		清掃活動等				●					◎
日光-7	まちづくりと一体化した整備 〈水辺スポット整備事業〉	身近な水辺の親水性の向上				●					◎
日光-8	なごや西の森づくり	緑化の推進		●					◎	○	

※「小区分」については付表を参照下さい。

凡例：◎：主たるテーマ区分 ○：副次的なテーマ区分

■：他流域と重複するため、表記を省略したアクションシートは灰色で表記しています。

日光-7 まちづくりと一体化した整備<水辺スポット整備事業>

機能区分	きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化
小区分	身近な水辺の親水性の向上				
テーマ区分	森づくり	郷づくり	まちづくり	川・里海づくり	
対象区分	ハード	ソフト	登録年度	平成19年度	
実施主体	蟹江町、愛知県		一覧表番号	151	
取組の内容	<p>1 取組の目的、背景及び必要性 蟹江川と地域の人々とのふれあいの場の創造（親水性の確保を主眼においた整備）</p> <p>2 実施内容(概要)、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 高水敷整備、散策路、護岸整備、休憩施設、防護柵等 実施場所 蟹江川の高水敷・堤防側帯 <p>3 取組の連携・協働 愛知県</p> <p>4 関連する計画及び根拠となる法律 —</p>				
指標とする項目	親水施設面積 整備箇所数	指標の説明	—		

日光-8 なごや西の森づくり

機能区分	きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化
小区分	緑化の推進				
テーマ区分	森づくり	郷づくり	まちづくり	川・里海づくり	
対象区分	ハード	ソフト	登録年度	平成19年度 (平成27年度一部修正)	
実施主体	名古屋市		一覧表番号	212	
取組の内容	<p>1 取組の目的、背景及び必要性 名古屋市では、樹林地が少ない市南西部に位置する戸田川緑地の整備にあわせ、市民・企業・行政の協働により苗木等を植え、新たな森を創出していく「なごや西の森づくり」に平成11年度から取り組んでいる。現在、市民・学識経験者と市で平成12年3月に策定した「なごや西の森づくり計画書」を基に、市民とともに「なごや西の森づくり」を進めている。</p> <p>2 実施内容(概要)、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 森の成長にあわせた森の手入れ、森や水辺の観察、調査、クラフトづくり等森での体験イベント 実施場所 戸田川緑地（なごや西の森） 実施時期 通年 <p>3 取組の連携・協働 市民（戸田川みどりの夢くらぶ、高年学園園芸緑友会）、企業、行政の協働で森づくりを進めている。</p> <p>4 関連する計画及び根拠となる法律 —</p>				
指標とする項目	市民の参加者数	指標の説明	—		



木曾川・庄内川等流域の取組一覧

取組番号	取組名	小区分	機能区分					テーマ区分				
			きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化	森	郷	まち	川・海	
木・庄-1	合流式下水道の改善	生活排水対策	●								○	◎
木・庄-2	水生生物調査	水質等の調査	●									◎
		動植物の調査・保全			●							◎
木・庄-3	水質環境目標値市民モニタリング	水質等の調査	●								○	◎
		モニタリングの実施		●							○	◎
木・庄-4	魚道環境の調査	水質等の調査	●								○	◎
		動植物の調査・保全			●						○	◎
		モニタリングの実施				●					○	◎
木・庄-5	河川・海岸の清掃	清掃活動等	●									◎
		清掃活動等			●							◎
		清掃活動等				●						◎
木・庄-6	水源涵養林育成事業	森林の整備・保全		●					◎			
木・庄-7	流域連携	森林の整備・保全		●					◎			
木・庄-8	特定都市河川浸水被害対策法等に基づく取組	雨水貯留浸透施設、透水性舗装等の推進		●							◎	
木・庄-9	総合治水対策の推進事業	総合治水対策の推進		●						○	◎	
木・庄-10	湧き水モニタリング	モニタリングの実施		●							○	◎
		水情報の発信					●				○	◎
木・庄-11	湿地・湿原の保全	湿地・湿原の保全			●					◎		
木・庄-12	自然生態園整備事業	エコトーンの整備等			●					○	◎	
木・庄-13	遊歩道・サイクリングロードの整備	身近な水辺の親水性の向上					●				◎	
木・庄-14	港湾環境整備事業(中川運河緑地)	身近な水辺の親水性の向上					●					◎
木・庄-15	堀川の総合整備	生活排水対策	●								○	◎
		直接浄化対策	●								○	◎
		底質改善対策	●								○	◎
		水質等の調査	●								○	◎
		清掃活動等	●								○	◎
		水資源の効率的利用		●							○	◎
		地下水の環境用水利用		●							○	◎
身近な水辺の親水性の向上活動支援等						●			○	◎		
木・庄-16	中川運河水質浄化	直接浄化対策	●									◎
木・庄-17	中川運河水質改善事業	直接浄化対策	●									◎
木・庄-18	「合瀬川の清流を取りもどす会」での活動	水質等の調査	●								○	◎
		清掃活動等	●								○	◎
木・庄-19	モリコロの川(矢田川)を守るプロジェクト	動植物の調査・保全			●						○	◎
		清掃活動等	●									◎
		活動支援等					●					◎
木・庄-20	藤前干潟でのイベントの実施	啓発						●				◎

※「小区分」については付表を参照下さい。

凡例：◎：主たるテーマ区分 ○：副次的なテーマ区分

■：他流域と重複するため、表記を省略したアクションシートは灰色で表記しています。